

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

スズランを
手折る。





あ
あの…恥ずかしいです
プロデューサーさん…

どうしてこんなふう
に
いけないんですか…？



あ
あの…？
それって…
なんなんですか…？

…あ
たしかマッサージ機…？

………



やっ!?
なにっ!
なんですかこれっ!!
ああっ...やだっ...
やあああああっ!



やめっやめてくださ...っ
つよすぎ...てっ!
あたま...変に...いっ

変になって
もっと大きな声を
出してもいいんだよ
ラブホテルなんだから
...ほらっ

コキキキ



誘われてホテルに来たんだから
覚悟はあったんだろう？
怖気づきながらも
僕を信じてくれたんだろう？

…だけど





は……
はじめまして……

初めて会ったとき
君はずっと
困ったような顔でいた

そうだ
もっと悲鳴じみた声を
聞かせてほしいんだ……

自分の不幸のせいで
人に迷惑を……なんて
自分を卑下して
ばかりだった彼女も
少しずつ明るく
前向きになっていった



ここに
だけで
幸せになれるそう……

運が悪いのは変わらず
それをどうにか
できないところも変わらず

だけど一歩一歩
運の悪さを乗り越えようと
運が悪くてもそのせいに
しないように

そうやって君は
仕事も日常も
歩んでいた

奮



わっ
っ

その仕事から
仲間も友達もできて

健気にひたむきに
仕事にも取り組んで

あ
あ



トークバトルショーで
あのメンバーの中で
負けずに自分の不幸をネタに
してしまったときは驚いた

そんな強さや明るさを
どんどん手に入れていく
ほたる



あの八の字もそのうち
もつと柔らかくなって
きつと笑顔になつていく
そう思えるような
進み方だった

ほたるにとつて
もつともいい方向に
進んでいると
確信するような
そんな

……..
だけど

僕は

出会った頃の
どうしようもなく
謝ってばかりだった
君だから
アイドルに
したかったんだ



君の信頼を裏切らせてくれ

だから……



すっかり
びしょびしょだね
実はえっちな子
だったのかな？

そんなの生理現象だって……
わたしだって知って……
きやふっ！！



ははは
こんなものでいじられて
もっと泣くかと思っただけ
だけだなあ

んー？ なんて言ってるのか
わからないなあ
ほらつもつとはっきり
言つてよっ



あきやう……



やっあつ
あああ...っ
もう...
だめです...っ

これ以上
せれたく...



よしじゃあ
もっといいところに
当ててあげるね

ほたるってば
なんだかとも
気持ちよさそうだね



!?
そっそこはだめ...
だめですっ...!
だめなのに...っ







お願いします…
そんなに強く
されたら
痛くて…っ



これから
もっと痛くするんだから
慣れてもらわないと

えっ………!!



…ちがうな



そっ
それって…っ!

ここまで
ついて来てるんだから
わかってるんだろ?

それは…っ



わかって…
ますけど…でも…っ

だよね?
じゃあ準備するね

そうだ
君が僕のことを
好いてくれてるって
知ってる
信じていてくれるって

いた…になるか

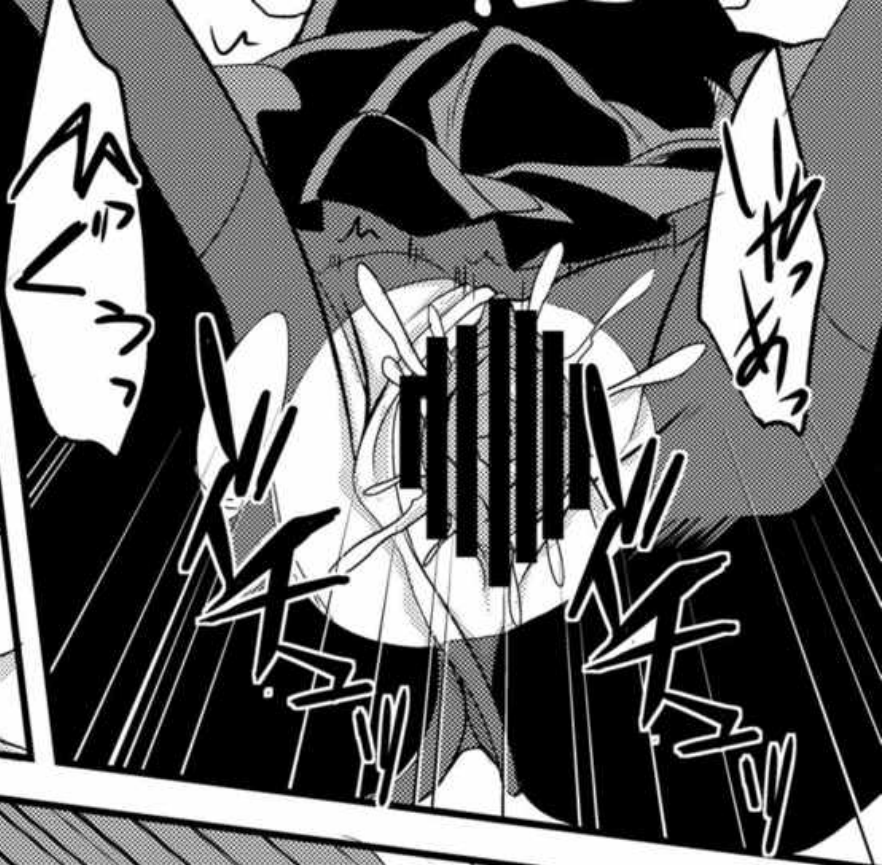
いや…
した…
た…





痛いっ…っ痛いっ…っ

息…できなくなっ…っ
うああ…ああ…っ



きっとほたるは僕に出会わない方が幸せでいられたんだろう

ごめんな…
こんな自分勝手に君を不幸にしてしまっ…

でも

もつと不幸にするまでやめられないんだ…っ

プロデューサーさん…っ
お願いしますっ
ゆっくり…っ…ひっ



まだそんなふうには
僕のことを呼ぶっていうのか……

痛いぐらいなのに……なのに
どうして……っ
プロデューサーさん……っ

ああ……あつ

どうして……!



なかに……っ!?
それは……でも……っ

もう出る……っ
中で
中で出……っ



あなたが……
そうしたいのなら……

……っ



くそ……っ!
ほたる……っ



そんなこと
ありません！

ほたるだって
軽蔑して…



僕は君にひどいことを
しているんだぞ
最低なことを
しているんだ…！



…なんで…受け入れるような
ことを言うんだ…！



それだけは…
絶対だって
信じてます…っ



な…

たしかに…
今されていることは
ひどいこと…なのかも
しれません

とても痛かったですし…
悲しい気持ちに…
なりましたけど…

プロデューサーさんは
ひどい人じゃありません
したくてひどいことを
するようない人じゃ…
ありません…



どうしてわたしみたいな顔を
しているんですか…?
自分じゃどうにも
ならないことを…祈るみたいに

それは…っ



違う…!
ずっとこうしたかったんだよ!

だって…そうだったら…
ひどい人だったら…

そっ
いいえきつと
違います…



それに…
わたし知ってます…
あなたが…隠していた
ファンレターのこと…

危険なものとか…
少し言葉のきついものとか…
前もって調べてくれてるのは
知ってました…

でもある日
それを見つけてしまって…
…それがわたしの
不運だったのか
それとも…



悲しくなりましたけど
でも…
不思議な気持ちに
なりました

あの頃の…不幸を
嘆いただけのわたしを
好きでいてくれた人も
いるんだって…



その手紙は
「どんなに明るくなっていって
そんなのは君らしくない」
…そんな内容でした

とても驚きました…
わたしきつといい方向に
進めているって…
そう思っていたんです

変な感じでした…
変わらなくちゃって
思ってたのに

でもだからこそ…
さっき気づいたんです

きつとあなたも
そうなんだって…!!

ほたる…

ふふ…
そんなに驚かないでください
わたしなんかのことを
スカウトするなんて
それくらいでないかと
変ですし…っ

でもそれじゃ…
どっちにしろ最低だよ
自分の好みで
君を裏切って…

ううん…
きつとわたしが
今よりずっと明るくなって
いつも笑顔でいられるような
アイドルになったら…
その…そんな自分は
想像できませんけど…

そうだったら
今のファンの人たちは
離れて行ってしまおうと
思います…

それでも…

あつ
もちろん全員じゃない
とは思いますが
思いますけど…っ

人が離れていったとしても
わたしは…そんな
素敵な女の子になりたいって
思っています…

そう…だよな

でも…



憧れのなりたい自分より
わたしは…もっと…

トップアイドルに…
なりたいんです…!!



だから…
いいんですっ

あなたが望むわたしに
してください…っ♡



…笑顔になった君を
魅力的に思う人だって
きつとたくさんいるよ?

ふふ…
プロデュース方針と
プロデューサーの思いが
ずれてたら
うまくなんて…
いけないと思いますよ…?



それは…
その通りだと
思うけど…



…気持ちよさそうだし…
今度はちゃんと優しくするから…
いいよね?

…はい





ふあああ、
ああ……っからだか
浮いちやいます……っ

ふわふわ
あす……

さっきは余裕なくて
感じる暇なかったけど……
ほたるの中
すこくいいよ……っ

君のことを
明るく笑顔の似合う子には
してやれない…っ
でも…

君がそう言って
くれるなら…!!

はい…っ
はいっっ

きて…っ
くださいっ
♡

出る…!!

ほたる…
ほたるの膣内にッ!

ああ…
♡



はあ...はあ...
もう...
動けません...

その...
いくらなんでも
やりすぎたと...



それにこれもわたしの
不幸かもしれない...
だから気にしないで
ください...

でもきつと...
この不幸がなかったら
プロデューサーさんと
こうなることもなくて...



そうですね...
さすがにこんな
はじめては...
想像してませんでした

うう

ぐわん



ですから...
これからも
わたしのことを
いっぱい幸せにして...

それから
時々はまだ不幸にも
してください...ね?

...今から
不幸にしてもいい?

ええっ

...ははいっ
...ははいっ

.....
ぐわん

おわる



2015.3.08
Hard Lucker